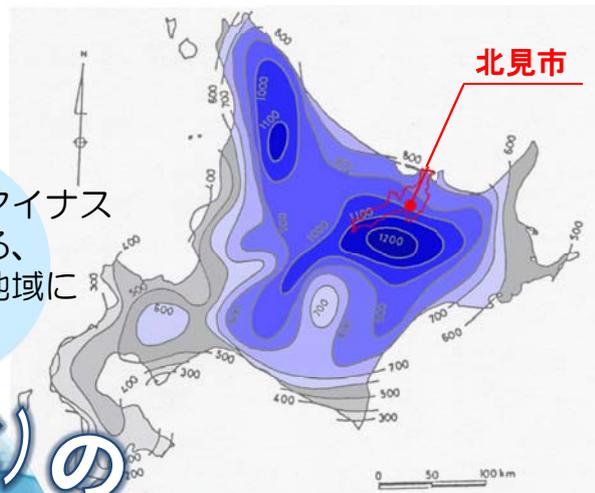




# 海に浮かぶ氷を調べて 地球の気候変動を知る

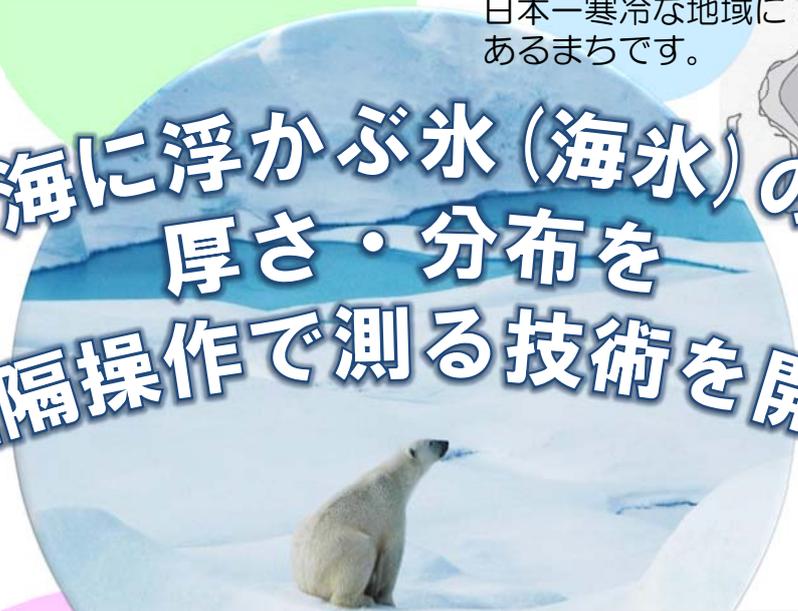
**北**見工業大学は、北極や南極などの研究でつかう様々な観測方法の開発に力をいれています。

**北**見は、冬には気温がマイナス20℃を下回る、日本一寒冷な地域にあるまちです。



積算寒度分布:色が濃いほど、寒さが厳しいことを表します。  
出典: S.Kinoshita, et.al, Natural Disaster Science, Vol.1, No.2, pp.1-9, 1979

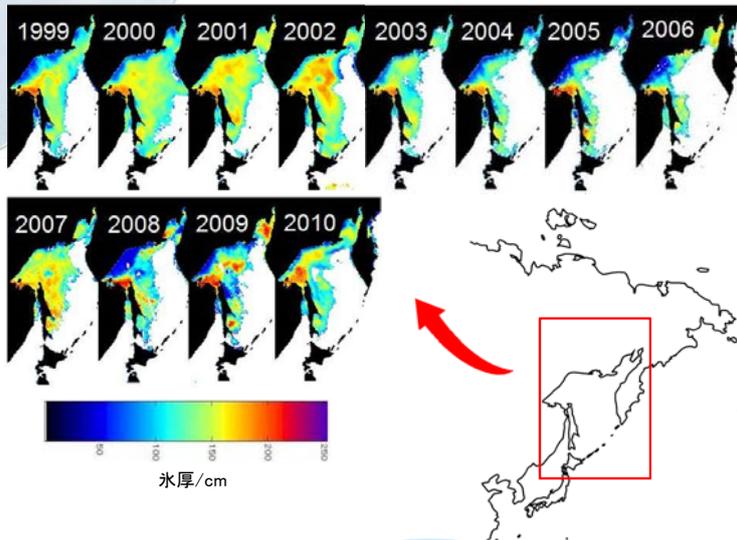
## 海に浮かぶ氷(海氷)の 厚さ・分布を 遠隔操作で測る技術を開発



開発した方法を用いて人工衛星から観測した、オホーツク海の1999年～2010年の最大氷厚変化

**北**見工業大学では、雪や氷などが発する電波を測定するマイクロ波放射計や電磁誘導式氷厚計などを用いて、海氷を観測する新しい方法を開発しています。

**こ**の技術により、天候に左右されずに、広い範囲の氷厚を効率的に測ることができるようになります。



**開**発した技術を発展させ、北極・南極での海氷厚さやそれらが融ける量の変化を過去にさかのぼって明らかにし、将来の地球環境を予測していきます。

**海**氷の監視は、

- 地球の気候変動を知ること
- 人の生活の場や活動できる期間を拡大すること
- 水産資源と海氷との関係を明確にすること

などにつながります。

海氷が生まれたり、融けたりする様子を明らかにすることで、地球の気候変動を知ることができます。